

園長：やさしい気遣いも大人からやってもらってきたことを真似て“自分から”、“自発的に”やっていく姿が見られるようになってきましたね。



10・11・12
月



お散歩中に、転んでしまって、悲しくて座り込んでしまったりなちゃん。そんな姿に、そっと寄り添ってくれていたしょうたくんです。



しょうたくんに手を差し伸べてもらって、りなちゃんもまた歩き始めました。言葉はなくても、こんな風に気持ちが通い合う姿には感動します！



そうして、ちょっとずつ、困っていたり悲しんでいたお友だちの姿を見ると、そばへ行って、慰めてくれるような姿が増えていました。



困っているようだな、悲しそうだな、という姿を見つけると、自分なりに寄り添ってくれていました。こうして、気にかけてくれるお友だちがいるって、素敵なことですね。



園長：遊びの協同の中にも共通の目標が見つかってきましたね。



「お友だちと一緒に」に何かをすることも楽しそうです。
この日は、ベンチでバスごっこが始まると…
次から次へとみんなが乗り込んで、しゅっぱーつ！



夕方、足台をステージに見立てて遊んでいたら…
「まいごのまいごのこねこちゃん♪」とみんなでLIVEが始まりました。

お友だちと同じことをしたり、同じイメージを持って遊んだりする姿がとっても増えてきたと感じます。そして、そうして一緒に遊んでいるときは楽しさもひとしおです。



3期まとめ

お友だちとイメージを共有して遊ぶようすが増えました。ごっこ遊びの盛り上がりも、そのひとつですね。そして、困っていたり悲しそうにしていたりするお友だちの姿を見ると、さっとそばへ行って気にかけるような場面もたくさんみられ、嬉しく思いました。また、気持ちがぶつかってケンカしても、しばらくしてどちらかが譲ってくれる…など、そこからまた気持ちがほぐれて仲良く遊び始めるというようなこともありました。